

設計段階からの新技術の更なる導入に向けた環境整備の取組み

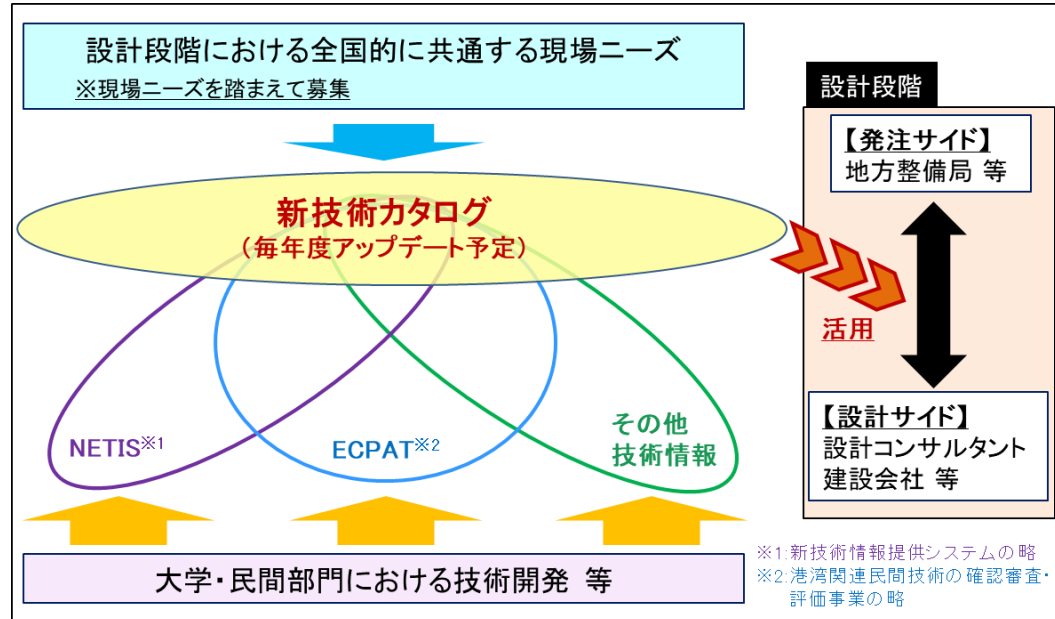
【設計段階からの新技術の導入に関する現況と課題】

- 港湾分野では、激甚化・頻発化する自然災害や気候変動への対応、生産性向上、カーボンニュートラルの実現など、多様化・複雑化する政策ニーズへの的確に対応していくために、港湾工事における新技術の更なる導入促進が求められている状況。
- 従前より、港湾工事における設計段階からの新技術の導入に向け、地方整備局等における技術的な課題の克服に向けた取組み、大学・民間部門(建設会社・設計コンサルタント等)における技術開発等が進められている一方、それら各取組みが必ずしも有機的に行われていないことから、現場ニーズに対応した更なる技術情報の共有化・活用を図る必要があると認識。

【新技術の更なる導入に向けた環境整備の取組み】

- 新技術の更なる導入促進に向け、「港湾工事における設計段階からの新技術導入促進委員会」を設置し、学識者の方々の御意見等も踏まえ、今般、“全国的に共通する現場ニーズ”を公表、それら現場ニーズに対応する技術情報を募集の上、“新技術カタログ”として集約・公表し、設計段階からの新技術の更なる導入促進に向けた環境整備に取り組む。

【“新技術カタログ”の利活用イメージ】



【“新技術カタログ”策定に向けた今後の進め方】

開催	項目
令和7年2月13日 (第4回委員会)	- 全国的に共通するニーズの抽出 - 技術情報の募集内容の確認 - 新技術カタログの改善について検討
令和7年3月21日	“現場ニーズに対応する技術情報”の募集 【募集期間】 3月21日(金)～4月25日(金)12時(正午)
令和7年5月頃 (第5回委員会)	“新技術カタログ”(案)の確認
令和7年5～6月頃	“新技術カタログ”公表